R3年度\_音声読み上げ用年間行事予定テキスト.docx

令和3年4月から令和4年3月　名古屋市博物館

名古屋市蓬左（ほうさ）文庫・名古屋市秀吉（ひでよし）清正記念館

# 令和3年度の名古屋市博物館

　展覧会名称や会期等の詳細は今後変更される場合があります。最新情報は博物館公式サイトで。 http://www.museum.city.nagoya.jp/

## 1階展示室　特別展・企画展

#### 6月1日から８月29日まで　特別展　ゲーセンミュージアム　この夏、博物館はゲームセンターになります。

みなさんはゲームセンターで遊んだことがありますか。博物館では今回、ゲームセンターを遊び場のひとつとして考え、デパートの屋上、ボウリング場、「インベーダーハウス」と呼ばれるゲームセンター、喫茶店、駄菓子屋、大型ゲームセンターといったゲームができる遊び場を紹介します。

ゲームはピンボール、スペースインベーダー、パックマンなどなど。展示するほぼすべてのゲームがプレイ可能な大規模展です。

協力：日本ゲーム博物館（小牧ハイウェイ企画）

#### 9月11日から11月14日まで　特別展　ムーミンコミックス展

ムーミンの生みの親トーベ・ヤンソンと、弟のラルス・ヤンソンが共作した「ムーミンコミックス」は、イギリスの夕刊紙で20年余り連載されると世界中で人気を博し、今日の人気につながっていきました。

本展では約280点にも及ぶ日本初公開のスケッチや原画などを通じて、楽しく奥深いムーミンたちの豊かな世界とその魅力を紹介します。

#### 11月22日から11月29日までは館内点検のため休館します。

#### 12月4日から令和4年1月30日まで　特別展　大雅（たいが）と蕪村（ぶそん）　文人画の大成者

　日本を代表する文人画家として名高い池大雅（いけのたいが）と与謝蕪村（よさのぶそん）。両者が競演した国宝『十便十宜図』（明和8年、1771年) は、 鳴海宿（現名古屋市緑区）の豪商・下郷家（しもざとけ）が所蔵していたことで知られます。

本展覧会は、『十便十宜図』誕生から250年を記念して、大雅と蕪村それぞれの名品を紹介し、個性あふれる文人画の魅力に迫ります。

#### 3月8日から5月8日まで　特別展　ＤＣ展　スーパーヒーローの誕生

　世界的に人気を博すバットマンやスーパーマン、そして近年大人気となったジョーカーなどを生み出したアメコミ出版社、DC。貴重な出版当時のコミックや設定資料、映画の衣装や小道具などから、時代とともに形を変え、オリジナルのキャラクターと物語を作り続けるDCの80 年以上の歴史とその魅力に迫ります。

## 2階展示室　常設展「尾張の歴史」

### フリールーム

　常設展示室の中の展示替えコーナーです。長期間展示できない資料や新収蔵資料などを中心に、小規模な企画展示を随時開催しています。

#### 3月24日から4月25日まで　描かれた宮宿

宮宿（現名古屋市熱田区）は、東海道の宿場のひとつとして浮世絵の画題となっています。名所絵として江戸の浮世絵師たちが宮宿をどう描いたか、その傾向を探ると同時に、名古屋の人々が捉えた宮宿の風景もご紹介します。テーマ10との共通展示です

#### 4月28日から6月20日まで　朝日遺跡　弥生の大集落遺跡

　弥生時代の大集落として日本を代表する朝日遺跡。多くの調査のなかで初期に行われた二反地貝塚の出土品を初公開。その後の調査資料もあわせて朝日遺跡の魅力を紹介します。

#### 6月23日から8月22日まで　教育勅語

　明治天皇から発せられた「教育ニ関スル勅語（教育勅語）」。先の大戦後、国会において排除・失効確認がなされ、現在ではその内容を目にすることはほとんどなくなりました。この戦前日本の国民のモラルの根本原理について、当時の社会でのありようを紹介します。

#### 8月25日から10月24日まで　中近世の埋納品と石造物

　中世以降の仏教を中心とする信仰や供養について、埋納された経筒や蔵骨器、地上にたてられた板碑などから、その様相を紹介します。

#### 10月27日から12月19日まで　新発見！館蔵考古資料展

　館蔵考古資料のなかから、近年の新収資料と、研究成果による新知見を紹介します。未公開の考古資料が多数登場します。

#### 12月21日から令和4年3月21日まで　なごやのうつりかわり

　「交通」「道具」「くらし」などのテーマについて、明治時代から現在までの間にくらしを変えたできごとを紹介し、名古屋市や人々の生活がうつりかわる様子をたどります。

### テーマ10　近世尾張の文化

　名古屋城下の文化的な繁栄ぶりをしめす絵画や工芸品を、定期的に展示替えしています。

#### 3月24日から4月25日まで　描かれた宮宿

　宮宿（現名古屋市熱田区）は、東海道の宿場のひとつとして浮世絵の画題となっています。名所絵として江戸の浮世絵師たちが宮宿をどう描いたか、その傾向を探ると同時に、名古屋の人々が捉えた宮宿の風景もご紹介します。フリールームとの共通展示です

#### 4月28日から6月20日まで　御歌所（おうたどころ）の歌人の書

　皇族の作歌や御歌会に関する事務を司っていた御歌所で活躍していた名古屋出身の歌人たちの書作品から、彼らの業績や当時の書道史研究の様相を紹介します。

#### 6月23日から8月22日まで　和歌と絵画

　日本の代表的な文芸である和歌は、絵画と密接な関係をもっています。江戸時代の文献資料と絵画作品を中心に、和歌と絵画の関係を紐解きます。

#### 8月25日から10月24日まで　慶長の朝鮮出兵

　豊臣秀吉は、一時休戦していた朝鮮半島への侵攻を慶長2年（1597年）に再開します。『豊臣秀吉文書集』編集作業の成果から、秀吉にとって生涯最後の戦となった朝鮮出兵を紹介します。

#### 10月27日から11月21日まで　宮脇綾子の布あつめ　藍染めへの想い

創作アップリケ作家である宮脇綾子。個性的な作品を作るうえで欠かせないのが、藍染めの布地や着物でした。宮脇綾子が一時期に各地を訪ねて集めた着物や布地を紹介します。

#### 11月30日から令和4年１月23日まで　屏風の名品

　「秋草鶉図屏風」（展示期間11月30日から12月27日まで）と山本梅逸「梅花叭々鳥図屏風（ばいかははちょうずびょうぶ）」（展示期間：令和4年1月4日から1月23日まで）を展示します。特別展「大雅と蕪村」とあわせてお楽しみください。

#### 令和4年1月26日から3月21日まで　瀬戸の染付　焼き、売りさばく

　窯業で知られる瀬戸では、江戸時代後期になって磁器生産に成功し、さらなる発展を遂げました。当時の作品や古文書から、製作や流通の諸相を垣間見ます。

### テーマ16　まつり

#### 3月24日から4月25日まで　古文書で読む東照宮祭

　戦前まで名古屋の春の風物詩だった名古屋東照宮祭。江戸時代の古文書・古記録から当時の様子を紹介します。

#### 4月28日から6月20日まで　五月人形

　東京出身のとある一家。お孫さんが名古屋で男の子を産み、五月人形を買うことに。松坂屋百貨店でおすすめされたのは、東京では見たことのない人形でした。

#### 6月23日から8月22日まで　祭りの食文化

　祭りや行事がおこなわれる特別な日には、普段とは異なる食事が楽しみの一つでした。すし、雑煮、おこしものなど、地域や家庭で伝えられてきた食文化を紹介します。

#### 8月25日から10月24日まで　中村区二福神車のからくり人形

　10月第2土日に行われる中村区の花車神明社のお祭り。そこで登場する二福神車のからくり人形を紹介します。愛嬌のある恵比寿と大黒の姿をお楽しみください。

#### 10月27日から11月21日まで　清水中之切のからくり人形

　かつて北区清水の八王子神社天王祭で曳き出されていたしゃっきょうしゃ（戦災で焼失）。辛くも戦火を逃れたそのからくり人形を紹介します。

#### 11月30日から1月23日まで　郷土玩具の旅

　祭りや行事を題材とし、またそこで配布される郷土玩具は、土産物としても人気がありました。旅をしているかのように、各地の郷土玩具に出会える展示です。

#### 1月26日から3月21日まで　春の行事

　お正月が終わり、春へと向かうころ、あなたの家では何をしますか？　節分やひな祭りなど春に行われる行事を紹介します。

## イベント・セミナー

　※参加にあたり、障害等により特別な配慮が必要なかたは、事前申し込みの事業は申し込み時に、当日参加の事業は2週間前までに博物館にご相談ください。

### 歴史体験セミナー

2と3の応募は、名古屋市電子申請サービスにてご応募ください。受付は先着順、定員に達し次第終了。詳しくはお問い合わせください。

#### 1．むかしのおもちゃで遊ぼう

7月17日から8月29日まで

開館日の9時30分から17時まで

会場：１階展示説明室前

参加費：無料

#### 2．自分だけのまが玉づくり

8月21日、22日　各日2回

1回目：10時から11時30分まで

2回目：14時から15時30分まで

定員：各回30人（小学校3年生以下は要保護者同伴）

参加費：1人400円

要事前申し込み　申し込み期間：8月1日から20日まで（受付は先着順、定員に達し次第終了、キャンセル待ちはなし）

#### 3．ミニ屏風をつくろう

9月18日

1回目：10時から11時30分まで

2回目：14時から15時30分まで

定員：各回30人（小学生以下は要保護者同伴）

参加費：1人400円

要事前申し込み　申し込み期間：8月29日から9月17日まで（受付は先着順、定員に達し次第終了、キャンセル待ちはなし）

#### 4．正月のおもちゃ

12月14日から1月23日まで

開館日の9時30分から16時30分まで

会場：2階常設展ロビー

参加費：無料

### 各種イベント

#### 1．はくぶつかんクイズラリー

常設展でクイズラリーを開催します。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、予定を変更する場合があります。

7月28日から8月22日まで

会場：2階常設展示室

参加費：無料、ただし常設展観覧料が必要。

#### 2．はくぶつかん古書市

　郷土書、歴史書中心のフェアです。入場無料。

12月11日から12月19日まで

#### 3．考古学セミナー

　愛知県及び近隣の考古学の活動発表会です。入場無料。

### はくぶつかん講座

　当館学芸員が講師をつとめる講座です。10時開講（9時30分開場）。定員50名、受付は先着順、定員に達し次第終了。各回それぞれの募集期間にお申し込みください。詳しくはお問い合わせください。

#### 第1回：4月24日　描かれた宮宿

募集期間：3月8日から4月23日まで

#### 第2回：5月1日　御歌所（おうたどころ）の歌人の書

募集期間：3月15日から4月30日まで

#### 第3回：5月22日　高力猿猴庵（こうりきえんこうあん）と安永大洪水

募集期間：4月5日から5月21日まで

#### 第4回：6月26日　日本美術と和歌

募集期間：5月10日から6月25日まで

#### 第5回：7月3日　教育勅語の時代

募集期間：5月17日から7月2日まで

#### 第6回：9月4日　晩年の秀吉

募集期間：7月19日から9月3日まで

#### 第7回：9月25日　埋納品と石造物からみた信仰と供養

募集期間：8月9日から9月24日まで

#### 第8回：10月30日　宮脇綾子が集めた藍染め

募集期間：9月13日から10月29日まで

#### 第9回：11月6日　館蔵考古資料の最新成果

募集期間：9月20日から11月5日まで

#### 第10回：2月12日　名古屋の中のうみとやま

募集期間：12月27日から令和4年2月11日まで

# 令和3年度の名古屋市蓬左（ほうさ）文庫

#### 4月18日から5月30日まで　企画展　うるわしき花と鳥

　古から人の心を潤してきた花と鳥。四季を表す指標として、また洗練されたデザインとして花と鳥を写し込んだ絵画や工芸品を紹介します。

#### 6月5日から7月11日まで　企画展　あかがね　くろがね

　銅（あかがね）・鉄（くろがね）という金属素材に着目し、武家の人々のこだわりがつまった作品を紹介します。刀装具や茶道具など、実用性と装飾美を兼ね備えた多彩な輝きをお楽しみください。

#### 7月17日から9月12日まで　夏季特別展　家康から義直へ

　天下統一を果たした徳川家康と、泰平の世に尾張国統治を任された家康の息子義直。義直へ受け継がれた治世方針に焦点をあてながら、二人の生涯を、遺品や史料などから読み解きます。

#### 9月18日から11月7日まで　秋季特別展　尾張姫君ものがたり

　将軍家をはじめとする名家から嫁ぎ、御三家筆頭の尾張徳川家の歴代藩主を陰で支えた女性たち。正室や側室・娘たちゆかりの品々を展示し、その生涯を紐解きます。

#### 11月13日から12月12日まで　企画展　唐絵　尾張徳川家の中国絵画

　「東山御物」をはじめとする尾張徳川家伝来の中国絵画を初めて全点公開し、大名家の筆頭であった同家における中国絵画受容の様相に迫ります。

#### 12月13日から令和4年1月3日まで　特別整理・年末年始休館

#### 令和4年1月4日から1月30日まで　企画展　浮世絵で旅気分

幕末に浮世絵をいろどった北斎や広重の浮世絵風景版画を紹介します。尾張家13代・幼君徳川慶臧の墓の副葬品であった風景版画も紹介し、浮世絵師が何を伝えたかったのかを探ります。

#### 令和4年2月5日から4月3日まで　企画展　年中行事の今と昔

　日本の年中行事には現在にも息づく行事もあれば、今では失われてしまった行事もあります。江戸時代の版本や絵画などを中心に、年中行事の変容をたどります。

# 令和3年度の名古屋市秀吉（ひでよし）清正記念館

#### 3月13日から5月9日まで　特集展示　秀吉（ひでよし）と清正の絵物語　中編

　記念館所蔵の絵画シリーズ「秀吉と清正の絵物語」を展示します。天正10年（1582）の大徳寺葬儀から、天正18年(1590)の小田原攻め、天下統一までを紹介します。

#### 5月22日から7月4日　特集展示　秀吉（ひでよし）と清正の絵物語　後編

　記念館所蔵の絵画シリーズ「秀吉と清正の絵物語」を展示します。天正20年（1592）に始まった文禄の役から、慶長20年(1615)の大坂夏の陣までを紹介します。

#### 7月17日から9月20日まで　夏休み特集展示 豊臣秀吉（ひでよし）の合戦

　夏休み期間の小中学生向け企画です。豊臣秀吉が得意とした戦法や、人物像などを紹介します。自由研究にご活用ください。

#### 10月9日から12月5日まで　秀吉清正記念館30周年特別陳列　近江木下家資料展

　高台院（秀吉の正室、ねね）の養子、木下利次を初代とする近江木下家は、秀吉所用の品々を数多く伝えてきました。その中から代表的なものを紹介します。

#### 12月6日から12月13日まで　館内点検のため休館

#### 12月14日から令和4年2月20日まで　秀吉（ひでよし）清正記念館30周年　特集展示　武将　加藤清正

　加藤清正は、数多くの戦国武将の中でも、トップクラスの人気を誇ります。清正の武人としての魅力や、没後に「清正公」という神として信仰された様子を紹介します。

#### 令和4年3月5日から5月29日まで　秀吉（ひでよし）清正記念館30周年　パネル展　中村公園いまむかし

　記念館が位置する中村公園は、明治36年（1903）、豊臣秀吉（ひでよし）の生誕地を記念する公園として、開園しました。現代まで約120年間の景観の変遷を紹介します。

# 利用案内

## 名古屋市博物館

〒467-0806　名古屋市瑞穂区瑞穂通1-27-1

電話：052-853-2655

ファックス：052-853-3636

開館時間：9時30分から17時まで（入場は16時30分まで）

休館日：毎週月曜日（祝日の場合は直後の平日）、毎月第4火曜日（祝日を除く）、館内点検休館日（11月22日から29日まで）、年末年始休館（12月29日から1月3日まで）。

観覧料：常設展は一般300円、高大生200円、中学生以下無料。

　　　　30名以上の団体料金は、一般250円、高大生150円。

　　　　市内在住の65歳以上の方は100円。要敬老手帳等。

　　　　特別展・企画展は、その都度定めます。

交通　お出かけは公共交通機関で。

地下鉄桜通線「桜山」下車、4番出口へ150メートル。

金山バスターミナルから、市バス金山14系統（桜山経由）「博物館」下車。

駐車場（74台収容）普通車：1回300円

大型バス：1回1,200円

最新情報は博物館の公式サイトで。　http://www.museum.city.nagoya.jp/

## 名古屋市蓬左（ほうさ）文庫

〒461-0023　名古屋市東区徳川町1001

電話：052-935-2173

ファックス：052-935-2174

開館時間：10時から17時まで（入室は16時30分まで）

休館日：毎週月曜日（祝日の場合は直後の平日）、特別整理・年末年始休館（12月13日から1月3日まで）。

観覧料：一般1,400円、高大生700円、小中生500円。

　　　　※徳川美術館と共通。

交通

名古屋駅、栄より：市バス（基幹バス2号系統）・名鉄バス「徳川園新出来」下車、徒歩3分。

大曽根より：JR中央線「大曽根」下車、南出口より徒歩10分。

## 名古屋市秀吉（ひでよし）清正記念館

〒453-0053　名古屋市中村区中村町字茶ノ木25（中村公園文化プラザ2階）

電話：052-411-0035

ファックス：052-411-9987

開館時間：9時30分から17時まで

観覧料：無料

休館日：毎週月曜日（祝日の場合は直後の平日）、毎月第4火曜日（祝日を除く）、館内点検（12月6日から13日まで）、年末年始（12月27日から1月3日まで）。

交通

地下鉄東山線「中村公園」下車、3番出口から北へ徒歩10分。

# 名古屋市博物館

　名古屋市博物館は昭和52年に開館した歴史系の総合博物館です。わたしたちの祖先が残した考古・美術・歴史・民俗に関する資料を集め、保管・保存し、公開しています。

## 1階

### 特別展示室・部門展示室

　特別・部門展示室では、尾張地方の歴史・文化の特色を明らかにする企画展や内外のすぐれた文化遺産を紹介する特別展を開催。

### オーギュスト・ロダン作「考える人」

　「考える人」の像の前で記念撮影ができます。

### ミュージアムショップ

　オリジナルグッズ、歴史書などを販売。

## 2階

### 常設展「尾張の歴史」

　2階展示室では、常設展「尾張の歴史」を開催。原始から続くこの地方の歴史を16のテーマに分けて紹介しています。テーマ10「近世尾張の文化」、テーマ16「まつり」は定期的に展示替えをおこないます。この他に小規模な企画展示をおこなう「フリールーム」などがあります。その他のテーマでも随時展示替えをおこなっています。

#### テーマ1：狩猟・採集の時代

#### テーマ2：稲作のはじまった頃

#### テーマ3：古墳とその時代

#### テーマ4：古代の尾張

#### テーマ5：窯業

#### テーマ6：中世の尾張

#### テーマ7：尾張の統一と信長・秀吉（ひでよし）

#### テーマ8：尾張藩の成立

#### テーマ9：城下町の人々

#### テーマ10：近世尾張の文化

#### テーマ11：幕末維新の尾張

#### テーマ12：名古屋市の成立と近代産業

#### テーマ13：近代のくらしと文化

#### テーマ14：戦争と市民

#### テーマ15：なりわい

#### テーマ16：まつり

## 3階

### ギャラリー

　市民の作品発表の場として多くの展覧会が開催されます。

### 博物館サポーター募集

入場割引：企画展・常設展の入場無料。特別展は当日料金の半額割引。

特典：広報モニター会招待・館外見学会・館事業情報の案内送付など。

年会費：正サポーター3,000円　家族サポーター2,000円

本年度の特典の内容は、新型コロナウイルス感染症等の影響で今後変更される場合があります。最新情報はお問い合わせください。